

令和8年度

「運営に関する計画」

大阪市立姫島小学校

令和8年4月

現状と課題

昨年度の経年調査や学校アンケートの結果から、本校児童の実態は、「良好な人間関係と豊かな社会性を備え、ICT活用などの新しい学習スタイルにも柔軟に適應しているが、学年が進むにつれて自律的な学習習慣や言葉の力に課題を抱えるようになる」と分析する。学校生活アンケートでは、全校児童の9割が「学校に行くのが楽しい」と回答しており、日々の生活に対する前向きな姿勢が本校の大きな基盤となっている。具体的には以下の通り。

1. 生活リズムと健康

児童の生活習慣は概ね良好だが、メディア利用の長時間化が課題である。この長時間化は、読書時間の減少や家庭学習の質の低下と密接に関連していると推測される。

2. 学習習慣の実態

ICT活用能力は本校の強みであるが、学習の主体性には課題がある。宿題の実施率は比較的高いものの、「自分で計画を立てた学習」に取り組む児童の割合は激減する。「言われたことはやるが、自ら学びを構築する力」が十分に育っていない実態がある。

3. 言語活動と読書

本校の最も深刻な課題は「言葉の力」の低下である。経年調査でも、平日に「読書を全くしない」児童は5割に達している。この読書量の少なさは表現力にも影響し、自分の考えを文章に書くことを「難しい」と感じる児童は4～5割いる。ICT操作には慣れていても、論理的に思考を文章化することに大きな障壁があることがわかる。

4. 豊かな共感性と地域への愛着

「友だちや家族を大切に思っている」「困っている人を助けたい」という児童は全体で約9割と極めて高い数値になっている。また、地域行事への参加や地域の人との関わりを肯定する児童も8割に達し、地域に守られている安心感の中で成長している。

本校児童は、優しさと順応性を兼ね備えた素晴らしい可能性を秘めている。その土台の上に、「言葉の力」と「自律する力」を育むことが、これからの本校の教育活動の核となると考える。

【安全・安心な教育の推進】

中期目標

- 1 小学校学力経年調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を80%以上にする。(R7 71%)
- 2 年度末の校内調査において、前年度不登校児童の改善の割合を増加させる。
- 3 小学校学力経年調査における「自分には、よいところがありますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を83%以上にする。(R7 79.3%)

年度目標

- 1 令和8年度学校アンケートにおける「学校に行くのが楽しい」「子どもは楽しく学校に通っている」に対して、肯定的に回答する児童・保護者どもの割合を全学年平均73.6%以上にする。(R7 73.5%)
- 2 年度末の校内調査において、不登校児童の在籍率を前年度より減少させる。(R7=1.47%)

3 小学校学力経年調査における「自分には、よいところがありますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を79.4%以上にする。(R7 79.3%)

4 令和8年度学校アンケートにおける「自分のことも、友だちや家族のことも、ともに大切に思っている」に対して、**最も**肯定的に回答する児童の割合を全学年平均76.1%以上にする。(R7 76%)

5 校外学習やゲストティーチャー招聘、遠足・社会見学などの学習機会を充実させ、令和8年度学校アンケートにおける「学校では、授業のほかにも、さまざまな体験で学ぶことができる」に対して、**最も**肯定的に回答する児童の割合を全学年平均48.1%以上にする。(R7 48%)

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

中期目標

1 小学校学力経年調査における、国語の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より0.05ポイント以上向上させる。

2 小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を80%以上にする。(R7 75.2%)

3 小学校学力経年調査における「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を85%以上にする。(R7 82%)

4 小学校学力経年調査における「規則正しい生活(「朝食を毎日食べること」「毎日、同じくらいの時刻に寝て、同じくらいの時刻に起きること」)が大切だと思う」に対して、肯定的に回答する児童の割合を76%以上にする。(R7 66%)

年度目標

1 令和8年度学校アンケートにおける「学校の授業で物語を読み、自分の意見を持つことができた」に対して、肯定的に回答する児童の割合を75%以上にする。

2 小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を75.3%以上にする。(R7 75.2%)

3 小学校学力経年調査における「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を82.1%以上にする。(R7 82%)

4 令和8年度学校アンケートにおける「朝ごはんを食べる、手洗いをきちんとするなど、健康的・衛生的な生活に気をつけてすごそうと思う」に対して、**最も**肯定的に回答する児童の割合を全学年平均55.1%以上にする。(R7 55%)

【学びを支える教育環境の充実】

中期目標

1 小学校学力経年調査における「学習者用端末を活用して、自分の考えや意見を伝えたり、友だちと共有したり比べたりしていますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を70%以上にする。(R7 60.9%)

2 教員の働き方改革に関する目標を、「学校園における働き方改革アクションプラン【2026-2029】」に基づき、下に例示している項目を参考に設定する

- ・時間外勤務時間について、月80時間以上実施する教員をゼロにする。

3 小学校学力経年調査における「学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、読書をしますか（電子書籍の読書も含む。教科書や参考書、漫画や雑誌は除く）。」に対して、「読書を全くしない」と回答する児童の割合を28%以下にする。（R7 38.2%）

年度目標

1 小学校学力経年調査における「学習者用端末を活用して、自分の考えや意見を伝えたり、友だちと共有したり比べたりしていますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を61%以上にする。（R7 60.9%）

2 教員の働き方改革に関する目標を、「学校園における働き方改革アクションプラン【2026-2029】」に基づき、下に例示している項目を参考に設定する
・時間外勤務時間について、月100時間以上実施する教員をゼロにする。

3 令和8年度学校アンケートにおける「本を読むのが好き」に対して、肯定的に回答する児童の割合を全学年平均58.1%以上にする。（R7 58%）

4 小学校学力経年調査における「学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、読書をしますか（電子書籍の読書も含む。教科書や参考書、漫画や雑誌は除く）。」に対して、「読書を全くしない」と回答する児童の割合を38.1%以下にする。（R7 38.2%）

2 本年度の自己評価結果の総括

--

大阪市立姫島小学校 令和8年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準	A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
	C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【安全・安心な教育の推進】</p> <p>1 令和8年度学校アンケートにおける「学校に行くのが楽しい」「子どもは楽しく学校に通っている」に対して、肯定的に回答する児童・保護者との割合を全学年平均73.6%以上にする。(R7 73.5%)</p> <p>2 年度末の校内調査において、不登校児童の在籍率を前年度より減少させる。(R7 1.47%)</p> <p>3 小学校学力経年調査における「自分には、よいところがありますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を79.4%以上にする。(R7 79.3%)</p> <p>4 令和8年度学校アンケートにおける「自分のことも、友だちや家族のことも、ともに大切に思っている」に対して、最も肯定的に回答する児童の割合を全学年平均76.1%以上にする。(R7 76%)</p> <p>5 校外学習やゲストティーチャー招聘、遠足・社会見学などの学習機会を充実させ、令和8年度学校アンケートにおける「学校では、授業のほかにも、さまざまな体験で学ぶことができる」に対して、最も肯定的に回答する児童の割合を全学年平均48.1%以上にする。(R7 48%)</p>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【基本的な方向1 安全・安心な教育環境の実現】</p> <p>「いじめについて考える日」を各学期に設定し、校長講話⇒担任講話にとどまらず、年に1回以上、学級で「考える機会」を設ける。また、日常の児童観察を丁寧におこない、いじめの早期発見につなげる。疑わしい事案はすぐに管理職に報告し、月に1度あるいは臨時の「スクリーニング会議1（生活指導上の児童の状況・情報交換）」での情報共有を図る。同時に、いじめ対策委員会による組織的な早期対応をおこなう。</p> <hr/> <p>指標 上記取組を実施する。＝B そのうえで目標1・3を達成する。＝A</p>	
<p>取組内容②【基本的な方向2 豊かな心の育成】</p> <p>スペシャルサポートルーム（以下SSR）を設置し、教室に入りにくい児童の居場所づくりをする。SSRコーディネーターを中心にSSR支援員と連携し、効果的に運用を進める。SSR活用児童の様子についても、月に1度あるいは臨時の「スクリーニング会議1（生活指導上の児童の状況・情報交換）」での情報共有を図る。</p> <hr/> <p>指標 上記取組を実施する。＝B そのうえで目標2を達成する。＝A</p>	

取組内容③【基本的な方向2 豊かな心の育成】
代表委員会や児童会を中心に、ハッピーフェスティバル、たてわり班遠足、毎週の集会活動などでたてわり班活動を行い、仲間づくりを充実させる。また、地域の方々と連携し、地域の公園の清掃活動や防災訓練に参加する。

指標 上記取組を実施する。=B そのうえで目標4・5を達成する。=A

取組内容④【基本的な方向2 豊かな心の育成】
児童費のほかに校長経営戦略支援予算も活用し、校外学習やゲストティーチャー招聘、遠足・社会見学などの学習機会を充実させる。

指標 上記取組を実施する。=B そのうえで目標5を達成する。=A

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

次年度への改善点

大阪市立姫島小学校 令和8年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準	A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
	C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【未来を切り拓く学力・体力の向上】</p> <p>1 令和8年度学校アンケートにおける「学校の授業で物語を読み、自分の意見を持つことができた」に対して、肯定的に回答する児童の割合を75%以上にする。</p> <p>2 小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を75.3%以上にする。(R7 75.2%)</p> <p>3：小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」を回答する児童の割合を全学年平均66.1%以上にする。(R7 66%)</p> <p>4：令和8年度学校アンケートにおける「朝ごはんを食べる、手洗いをきちんとするなど、健康的・衛生的な生活に気をつけてすごそうと思う」に対して、最も肯定的に回答する児童の割合を全学年平均55.1%以上にする。(R7 55%)</p>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【基本的な方向4 誰一人取り残さない学力の向上】</p> <p>国語を重点教科として基礎学力向上に取り組む。特に物語文の学習を中心とした言語活動の効果的な実施方法についての研究・研修を進める。その成果を国語にとどまらず他の教科に意識的に取り入れる。</p> <p>指標指標 上記取組を実施する。=B そのうえで目標1・2を達成する。=A</p>	
<p>取組内容②【基本的な方向5 健やかな体の育成】</p> <p>校内体育部が主導しシナプソロジーの研修を行い、各学年の実態に応じて、計画的にシナプソロジーの要素を取り入れた授業を立案・実施する。発達段階や個に応じた負荷を意識し、適度に体を鍛えることの充実感・達成感を得ることができるようになる。また、「かけ足週間」「なわとび週間」などの活動を実施し、「体力づくり」を進める。</p> <p>指標 上記取組を実施する。=B そのうえで目標3を達成する。=A</p>	
<p>取組内容③【基本的な方向5 健やかな体の育成】</p> <p>学校保健委員会の開催および強調習慣の設定により、健康的・衛生的な意識や生活習慣が身につくように指導・啓発する。</p> <p>指標 上記取組を実施する。=B そのうえで目標4を達成する。=A</p>	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
次年度への改善点	

大阪市立姫島小学校 令和8年度 運営に関する計画・自己評価(目標別シート)

評価基準 A: 目標を上回って達成した	B: 目標どおりに達成した
C: 取り組んだが目標を達成できなかった	D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【学びを支える教育環境の充実】</p> <p>1 小学校学力経年調査における「学習者用端末を活用して、自分の考えや意見を伝えたり、友だちと共有したり比べたりしていますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を61%以上にする。(R7 60.9%)</p> <p>2 教員の働き方改革に関する目標を、「学校園における働き方改革アクションプラン【2026-2029】」に基づき、下に例示している項目を参考に設定する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・時間外勤務時間について、月100時間以上実施する教員をゼロにする。 <p>3 令和8年度学校アンケートにおける「本を読むのが好き」に対して、肯定的に回答する児童の割合を全学年平均58.1%以上にする。(R7 58%)</p> <p>4 小学校学力経年調査における「学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、読書をしますか(電子書籍の読書も含む。教科書や参考書、漫画や雑誌は除く)。」に対して、「読書を全くしない」と回答する児童の割合を38.1%以下にする。(R7 38.2%)</p>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【基本的な方向6 教育DXの推進】</p> <p>校内視聴覚部と校内研究部が連携し、授業におけるICT活用の研究・研修を実施する。そのことにより、毎日少なくとも1回は、学習活動の場でICTを活用する。また、高学年を中心に学期に1回はICTを活用して共同編集を実施する。</p> <hr/> <p>指標 上記取組を実施する。=B そのうえで目標1を達成する。=A</p>	
<p>取組内容②【基本的な方向7 人材の確保・育成としなやかな組織づくり】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■管理職が主導して、極端な業務負担の偏りが無い適材適所の組織編制をおこなう。行事の実施・内容について柔軟に再考し、精選に取り組む。 ■教職員は少なくとも学年所属単位・校務分掌単位で、さらにはその枠を超えて学校全体で互いの業務状況を理解し、助け合い支えあいの意識をもって日々の業務を遂行する。 ■校務支援ICT等を的確に活用して情報共有を行い、業務の効率化を図る。 <hr/> <p>指標 上記取組を実施する。=B そのうえで目標2を達成する。=A</p>	
<p>取組内容③【基本的な方向8 生涯学習の支援】</p> <p>日常的、継続的に読書をする習慣を身につけるために読書タイムを設定する。学校図書館担当を中心に図書館司書と連携し、児童の興味・関心に合った学級文庫の充実を図る。また、学習内容に関連した本を揃えるために、「団体貸出」制度を積極的に活用する。</p> <hr/> <p>指標 上記取組を実施する。=B そのうえで目標3・4を達成する。=A</p>	

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析
次年度への改善点